

会 長	副 会 長	庶務理事	会計理事	事務局長
次 長	課 長	係 長	担 当	受 付
				岡 林



2 高健政第 350 号
令和 2 年 9 月 7 日

関係各位

高知県健康政策部健康長寿政策課長
(公 印 省 略)

第 66 回四国公衆衛生学会総会・令和 2 年度四国公衆衛生研究発表会の
演題募集及び四国公衆衛生学会雑誌論文募集について

このことについて、別添「実施要領」により、演題募集及び論文募集の案内がありましたので、お知らせします。

なお、一般演題の申込み及び抄録提出は、健康長寿政策課で取りまとめますので、下記によりお申し込みください。

記

- 1 一般演題申込み及び抄録提出方法
 - (1) 原則として電子メールにて、「一般演題申込書」、「抄録」を同時にご提出ください。
 - (2) メール件名には「2 四国公衆衛生学会申込 (氏名〇〇)」を記載してください。
- 2 申込み及び提出先
メールアドレス：mari_fujiwara@ken4.pref.kochi.lg.jp
- 3 申込み期限
令和 2 年 11 月 6 日 (金) (必着)
- 4 その他
 - (1) 抄録作成の書式等、詳細につきましては別添「演題申込みについて (2020 年度)」をご確認ください。
 - (2) 「一般演題申込書」及び「抄録用テンプレート」は、四国公衆衛生学会ホームページ (<http://plaza.umin.ac.jp/~sikokuph/index.html>) からダウンロードできます。
 - (3) 「四国公衆衛生学会雑誌」の論文につきましては、学会事務局で直接、受け付けています。詳細につきましては、別添「四国公衆衛生学会雑誌」論文募集のご案内 (2020 年度)」をご確認ください。
 - (4) 別添「演題申込みについて (2020 年度)」では、資料代を各県の担当窓口を支払うことになっておりますが、事務の簡素化から、資料代は機関単位でとりまとめてお振込みください。(健康長寿政策課でのとりまとめはいたしません。)

振込は同封の振込用紙にて行い、資料代お振込み後は、申込書とともに郵便振替請求書兼受領書 (写し) を下記連絡先まで送付してください (電子メール、FAX 可)。なお、領収書を用意しておりますので、必要な方は下記問い合わせ先までご連絡ください。

連絡先

〒780-8570 高知市丸ノ内 1 丁目 2 番 20 号
TEL 088-823-9683
高知県健康政策部健康長寿政策課
四国公衆衛生学会担当：藤原

2020 年度四国公衆衛生研究発表会実施要領

1. 主 催 四国公衆衛生学会
2. Web開催期間 2021年2月5日(金)～2021年2月26日(金)
3. Web開催サイト 四国公衆衛生学会ホームページ内(準備中)
(URLは参加申込された方に別途通知します)
4. 研究発表
 - (1) 内容
公衆衛生に関係あるもの。
 - (2) 出題資格者
演者(共同演者も含む)は四国公衆衛生学会会員に限ります。
 - (3) 演題申込方法等
各県衛生主管部でとりまとめてお申込み下さい。
ア 申込先 〒790-8570 愛媛県松山市一番町 4-4-2
愛媛県保健福祉部健康衛生局健康増進課
四国公衆衛生学会 担当: 今村
TEL: 089-912-2401 FAX: 089-912-2399
E-mail: imamura-kanako@pref.ehime.lg.jp
イ 申込期限 2020年11月13日(金) 必着
ウ その他 詳細は別紙のとおりです。
5. 参加申込
別途お知らせしますので、各県衛生主管部で取りまとめのうえ、お申込み下さい。
6. 参加費
資料代として、参加者から2,500円を申し受けます。
参加申込の際に、各県の担当窓口にお支払いください。

2020 年度スケジュール予定

「論文集」

学会事務局

(愛媛大学大学院医学系研究科 疫学・予防医学講座)

論文投稿者

- ・ 論文投稿
- ・ 投稿締切
論壇・総説・原著・
公衆衛生活動報告
資料・会員の声

..... 10月23日(金)

学会事務局

- ・ 審査
- ・ 必要があれば著者に訂正依頼
- ・ 受理

論文投稿者

- ・ 完成原稿作成
- ・ 完成原稿（印刷用版下）提出締切

11月27日(金)

学会事務局

- ・ 論文集の編集
- ・ 必要な場合、完成原稿（印刷用版下）の
修正依頼が必要があれば著者に訂正依頼

「一般演題抄録集」

研究発表会事務局

(愛媛県保健福祉部健康衛生局健康増進課)

- ・ 総会・演題募集の案内（8月下旬）

演題申込者

- ・ 各県衛生主管部へ演題申込み
- ・ 抄録集用原稿（印刷用版下）作成
- ・ 演題申込み・抄録集用原稿（印刷用版下）
提出

締切 11月6日(金)

各県衛生主管部

- ・ 申込者への受付通知
- ・ 演題とりまとめ 11月13日(金)

研究発表会事務局ならびに学会事務局

- ・ プログラム編成

研究発表会事務局

- ・ 一般演題抄録集部分の編集
- ・ 必要な場合、抄録集用原稿（印刷用版下）
の修正依頼

学会事務局

- ・ 「論文集」部分と「一般演題抄録集」部分を合わせて編集
- ・ 四国公衆衛生学会雑誌完成

演題申込みについて (2020 年度)

四国公衆衛生学会事務局

1. 演題申込みについて

- ・ 演題は1筆頭演者につき1題が提出できます。共同演者についてはこの限りではありません。
- ・ 演者（共同演者も含む）は、四国公衆衛生学会に入会する必要があります。入会については各県の学会担当部局にお問い合わせください。
- ・ 演題申込み時に、一般演題申込書、および抄録を同時にご提出ください。
- ・ 演題申込みならびに抄録は、原則として電子メールにて下記までご提出ください。演題を受け付けましたら各県担当部局より受付通知をいたします。
- ・ 一般演題数については30～40題程度（各県8～10題程度）を予定しておりますが、申込み多数の場合は、各県担当者と連絡の上、学会長により発表の調整を行いますのでご了解ください。

【提出期限】 2020年11月6日（金）（必着）

【問合せ・提出先】

- | | |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 愛媛県 | 保健福祉部健康衛生局健康増進課 四国公衆衛生学会担当：今村
E-mail : imamura-kanako@pref.ehime.lg.jp TEL : 089-912-2401 |
| 香川県 | 健康福祉部健康福祉総務課 四国公衆衛生学会担当：荒井
E-mail : dy3198@pref.kagawa.lg.jp TEL : 087-832-3254 |
| 徳島県 | 保健福祉部健康づくり課 四国公衆衛生学会担当：高瀬
E-mail : 【行政機関】 kenkoudukurika@pref.tokushima.lg.jp TEL : 088-621-2220
【行政機関以外】 kenkoudukurika@pref.tokushima.jp |
| 高知県 | 健康政策部健康長寿政策課 四国公衆衛生学会担当：藤原
E-mail : mari_fujiwara@ken4.pref.kochi.lg.jp TEL : 088-823-9683 |

2. 抄録について

- ・ 抄録はA4サイズで1ページとします。また作成については別紙「抄録作成要領」をご覧ください。
- ・ 学会用ホームページより、演題申込ファイル、抄録用テンプレートをダウンロードしてご使用いただけます。

3. 誌上発表について

- 抄録を四国公衆衛生学会雑誌第 66 巻 1 号（2021 年 2 月発行予定）に掲載します。

4. Web 発表について

- 発表形式は PowerPoint スライドによる発表とします。
- 1 演題につき、PowerPoint スライド 10 枚程度の発表としてください。
- 可能であれば音声入りのスライドとしてください。その場合は 7 分程度となるようにしてください。音声を入れるのが難しい場合は音声入りでなくてもけっこうです。
- 筆頭演者の連絡先メールアドレスをスライドの表紙に明記してください。座長は置きませんので、演題についての質問は、質問者から直接メールで問合せいただくことになります。
- 発表スライドファイルは演者が直接学会事務局にメールでお送りください。県での取りまとめは行いません。締切は 2021 年 1 月 22 日（金）とします。
- 発表スライドは四国公衆衛生学会ホームページ内に掲載します。公開期間は 2021 年 2 月 5 日（金）～2 月 26 日（金）です。総会・研究発表会参加者のみ限定で閲覧できます。

5. 資料代について

演者（共同演者も含む）および学会・研究発表会参加者は、学会・研究発表会参加申込時に各県の担当窓口で資料代 2,500 円をお支払いください。

【学会事務局】

〒791-0204 愛媛県東温市志津川 454

愛媛大学大学院医学系研究科 疫学・予防医学講座

第 66 回四国公衆衛生学会事務局 担当：時信

TEL：089-960-5283 FAX：089-960-5284

E-mail: sph66@m.ehime-u.ac.jp

四国公衆衛生研究発表会一般演題申込書

演題名

--

誌上発表のみ希望（←希望の場合のみ丸で囲む）

誌上発表のみを希望する理由

--

ふりがな
筆頭演者

姓 名 所属 所属県

			徳島・香川 愛媛・高知
--	--	--	----------------

共同演者

姓 名 所属 電子メールアドレス

連絡先

氏名	連絡先住所
	〒

電子メールアドレス 電話 FAX(必ずお書きください)

--	--	--

続き演題
の有無

演題名

筆頭演者名

あり・なし		
-------	--	--

備考欄

--

筆頭演者殿

2020 年 月 日

上記演題を受け付けました。
修正等のお願いがある場合、12月末までにご連絡いたします。

高知 県 四国公衆衛生学会担当

「四国公衆衛生学会雑誌」論文募集のご案内（2020年度）

四国公衆衛生学会事務局

四国公衆衛生学会事務局では、今年度演題募集とともに、四国公衆衛生学会雑誌の〔論文集〕原稿を募集しています。今年度の締切は全て、下記のようになっておりますので期日までに、ご投稿下さい。昨年と締切日が異なっておりますのでご注意ください。論文の受付は通年で行っておりますので、期日を過ぎて投稿がありましたものについても審査の対象になりますが、掲載については来年度になります。なお、投稿ならびに審査にかかる時間を短縮し、受取り確認も確実に出来ることから、論文の投稿はE-mail添付の形式で行ってください。

論壇・総説・原著・公衆衛生活動報告・資料・会員の声
・・・・・・・・・・2020年10月23日(金) 締切(必着)

ご投稿頂きました論文のうち、投稿規定に従っていることが確認され、必要に応じて審査・訂正を経たものについては、四国公衆衛生学会雑誌第66巻1号（2021年2月発行予定）に掲載されます。

〔論文集〕部分の投稿規定の詳細は、〔四国公衆衛生学会雑誌論文投稿規定〕に記載しておりますが、特に注意していただきたい点と投稿の方法につきましては次頁以降にまとめておりますので、ご一読のうえ、これに沿って下さい。

論文投稿時の注意点

1. 本紙への投稿は共著者も含めて、原則四国公衆衛生学会会員である必要があります。
2. 原稿の種類には、「論壇」・「総説」・「原著」・「公衆衛生活動報告」・「資料」・「会員の声」があります。このうち、「公衆衛生活動報告」・「資料」は、日常活動の記録やまとめを投稿していただくためのものであり、「原著」と異なり必ずしも英文抄録をつける必要はありません。第一線で活動しておられる方からの投稿をお待ちしています。
3. 「論文集」部分への投稿は、学会事務局で一年を通して受け付けています。投稿論文は、完成原稿が12月4日までに受理されれば、その年度の雑誌に掲載されますが、12月5日以降に受理された場合は、次年度の雑誌に掲載されます。
論文がその年度の雑誌に掲載されるためには、審査に要する時間を考慮すると10月23日(金)までに事務局に到着するよう、投稿されている必要があります。
4. 「論文集」部分への投稿原稿は、すべてA4で作成し、横書きで25字×16行又は25字×32行(32字×25行でもよい)で印字する。数字および英字は原則として半角とする。また、全てのページ下余白の中央にページ番号を付け、図表を除く本文のページ左余白に全体を通して行番号を付ける(論文投稿規定を参照)。「表紙」、著作権委譲承諾書および投稿時COI自己申告書(様式を、四国公衆衛生学会ホームページからダウンロードしてください。)を添付(著作権委譲承諾書と投稿時COI自己申告書は自署しPDF形式で保存)してお送りください。なお、投稿ならびに審査にかかる時間を短縮し、受取り確認も確実にを行うために、論文の投稿はE-mailで行ってください。本文については、ワープロソフトで作成いただきPDF化したものか、MS-Wordで作成したものを、E-mailに添付して、事務局までお送りください。図、表に関しても、同様にPDF化したもの、もしくはMS-Excelで作成したものをE-mailに添付してお送りください。
5. 投稿料は1論文につき3,000円です。ただし、投稿料は雑誌完成後、他の費用とともに一括で請求いたしますので、投稿時に納める必要はありません。
6. 論文が受理されると、学会事務局から、原稿作成要領(日本公衆衛生雑誌のスタイルに準じています)をE-mailにて送付します。これに従い、著者の責任で、パソコン等を用いて原稿を印字し、MS-Wordで作成したものとPDF形式に変換したものの両方をE-mailに添付して、学会事務局へ返送して下さい。これを完成原稿としますが、修正をお願いすることがあります。
7. 「論文集」部分に投稿した論文の内容について、研究発表会で演題発表を行う場合は、研究発表会事務局から演題発表募集の案内があった時に、別途、演題の申込をして下さい。申込と同時に、論文とは別に、1頁で「一般演題抄録集」用の原稿を作成し、研究発表会事務局に送付してください。
8. 筆頭著者は、雑誌が掲載された年度の学会総会ならびに研究発表会に参加でき、1論文につき1冊の雑誌を有償で頒布されます。1論文につき、資料代として2,500円が必要であり、1論文につき1名がその年度の学会総会ならびに研究発表会に参加できます。費用は学会参加申込時に各県の担当窓口にお支払いいただきます。雑誌は学会開催日までに各県に配布しますので、担当窓口でお受け取りください。別刷については、希望がある場合には申し込んでください。実費が必要です(50部以上、50部4頁で1万円程度。ただし、部数が増えても金額は比例しては増えず、200部4頁でも50部より数千円高くなる程度です)。
9. 論文題名および筆頭著者については英文タイトル、姓名の英文表記を併記してください。なお、この英

文タイトルは学会事務局が指定した者による英文校正を行い、校正の結果を著者に連絡しますので、これを参考に確定した英文タイトルを著者の責任で作成し E-mail でお送りください。英文タイトルに関する校正費用は学会が負担します。

10. 投稿原稿の内容が倫理的配慮を必要とする場合は、必ず「方法」の項に倫理的配慮や研究対象者への配慮をどのように行ったかを記載してください。なお、ヒトを対象とした研究ではヘルシンキ宣言ならびに文部科学省・厚生労働省「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」あるいは他の適切な指針に従ってください。倫理委員会の承認を得て実施した研究は承認した倫理審査委員会の名称および承認年月日を本文中（方法）に記載してください。
11. 原稿の終わりに謝辞等の項を設けることができます。なお、当該研究遂行や論文作成に際して、企業・団体等から研究費助成、試料提供、便宜供与などの経済的支援を受けた場合は、ここにその旨を記載してください。
12. 英文抄録を添付する場合は、その英文については学会事務局が指定した者による英文校正を受ける必要があります。校正の結果を著者に連絡しますので、これを参考に確定した英文抄録を著者の責任で作成し E-mail でお送りください。英文部分の完成原稿は、事務局で作成し、和文部分の末尾に独立した頁として添付します。なお、英文抄録の校正に関する費用は有料とし、後日一括して著者に請求いたします。
13. 完成原稿の印刷に要する費用（掲載料）については、掲載編数にかかわらず 1筆頭著者につき同一年度内4頁までの頁作成に要する費用の70%を学会が負担し、4頁を越える部分の原稿の印刷費用については、1頁当たり3,000円の印刷費（掲載料）を著者負担とすることになっております。費用は、雑誌完成後、他の費用とともに一括で学会事務局より請求いたしますので、指定の方法により学会事務局に送付してください。なお、所定様式の請求書等が必要な場合は対応しますので別途ご相談ください。
例1：完成原稿が8頁の場合、 $4\text{頁} \times 3,000\text{円} \times 0.3 + (8\text{頁} - 4\text{頁}) \times 3,000\text{円} = 15,600\text{円}$ の掲載料が著者負担となります。
例2：同じ巻に2編を投稿し、完成原稿が各々4頁であった場合、2編合計の8頁のうち4頁までを学会が費用の70%を負担する部分とし、掲載料 $4\text{頁} \times 3,000\text{円} \times 0.3 + (8\text{頁} - 4\text{頁}) \times 3,000\text{円} = 15,600\text{円}$ が著者負担となります。
そのほかに、投稿料が1編につき3,000円（上記5参照）、資料代2,500円（上記8参照）、英文校正料（英文抄録のある場合、上記12参照）、年会費1人につき1,000円、別刷代金（希望される場合）等が必要になります。これらは掲載後、郵便振替により納付をお願いする予定です。
14. 論文投稿に関する送付先ならびに問合せ先は下記のとおりです。

【送付先・問合せ先】

〒791-0204 愛媛県東温市後川 454
愛媛大学大学院医学系研究科 疫学・予防医学講座
第66回四国公衆衛生学会事務局 担当：田中 景子
電話：089-960-5283 / FAX：089-960-5284
E-mail：sph66@m.ehime-u.ac.jp

論文完成原稿の作成見本

〇〇〇〇に関する△△研究

タイトル文字 14 ポイント、
ゴシック

〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇 〇
〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇〇

所属 〇〇大学△学部

著者名文字 10 ポイント、ゴシック
所属名文字 10 ポイント、ゴシック

乳幼児の難聴は言語発達に大きな影響を与え、
.....
.....
.....

母子保健上、取り組むべき重要な課題のひとつである。

Key words: 3歳児、1歳6か月児、新生児、聴覚、健診、難聴

抄録10ポイント、明朝
構造化抄録も可

結果

3歳児聴覚健診で見逃してはならない状態は、
.....

英字は、ゴシック部分はArial、
明朝部分はTimes New Roman

結論

3歳児健診で調べようとする検査項目は、客・
.....

論文末尾に利益相反について記載する

本論文に関して、開示すべき利益相反状態は存在しない。

はじめに

.....
乳幼児の難聴は言語発達に大きな影
.....

文字は10ポイント、大見出しはゴシック、
小見出しは明朝、本文は明朝

方法

3歳児聴覚健診の目的は、軽度～中等度難聴の発見である。中等度難聴は、通常の音はき
.....

連絡先：〒XXX-XXXX
XX県XX市XX町XX番地
〇〇大学△学部 〇〇〇
E-mail

本文は44行、余白上下各25mm、左右各17mm 2段組み、
段間10mm、段の文字数22字で作成してください。

四国公衆衛生学会雑誌 投稿時 COI 自己申告書

著者名： _____

論文題名： _____

(投稿時から遡って過去1年間以内での発表内容に関する企業・組織または団体との COI 状態を記載)

項 目	該当の状況	有であれば、著者名・企業名などの記載
① 報酬額 1つの企業・団体から年間100万円以上	有・無	
② 株式の利益 1つの企業から年間100万円以上、あるいは当該株式の5%以上保有	有・無	
③ 特許使用料 1つにつき年間100万円以上	有・無	
④ 講演料 1つの企業・団体からの年間合計50万円以上	有・無	
⑤ 原稿料 1つの企業・団体から年間合計50万円以上	有・無	
⑥ 研究費・助成金などの総額 1つの企業・団体からの研究経費を共有する所属部局（講座、分野あるいは研究室など）に支払われた年間総額が200万円以上	有・無	
⑦ 奨学（奨励）寄付などの総額 1つの企業・団体からの奨学寄付金を共有する所属部局（講座、分野あるいは研究室など）に支払われた年間総額が200万円以上	有・無	
⑧ 企業などが提供する寄付講座 （企業などからの寄付講座に所属している場合に記載）	有・無	
⑨ 旅費、贈答品などの受領 1つの企業・団体から年間5万円以上	有・無	

(本 COI 申告書は論文掲載後 3 年間保管されます)

(申告日) 年 月 日

記名（自署） _____

四国公衆衛生学会雑誌論文投稿規定

(2020年度改訂)

1. 本誌への投稿は共著者も含めて四国公衆衛生学会会員であることを原則とする。
2. 論文集部分は原則として下記の原稿によって編集される。
 - 1) 原稿の種類とその内容は表1のとおりとする。

表1 原稿の種類

項目	準ずる項目	内容
1. 論 壇	公衆衛生活動, 政策, 動向など	についての提案・提言
2. 総 説	研究・調査論文の総括及び解説	
3. 原 著	公衆衛生上重要で科学的な研究・調査に関する論文	
4. 公衆衛生活動報告	公衆衛生活動に関する実践報告	
5. 資 料	公衆衛生上有用な資料	
6. 会員の声	掲載論文に対する意見, 海外事情, 関連学術集会の報告など	

- 2) 原著の構成は原則として表2のとおりとする。
- 3) 公衆衛生活動報告は, 自治体や地域団体等が公衆衛生活動を通して得た知見であって, 他地域や団体が類似の活動を行う際の参考となる内容の報告とする。構成は表3の例を参考にする。

表2 論文の構成

項目	準ずる項目	内容
抄 録	要旨, まとめ	目的・方法・知見のまとめ(800字以内)
キーワード		(6個以内)
I 緒 言	はじめに, まえがき	研究の背景・目的
II 研究方法	方法と対象・材料等	研究・調査・実験・解析に関する手法の記述及び資料・材料の集め方
III 研究結果	研究成績	研究等の結果・成績
IV 考 察	考案	結果の考察・評価
V 結 語	おわりに, あとがき	結論(省略可)
文 献		文献の記載は5.12)に従う

表3 公衆衛生活動報告の構成(例)

項目	準ずる項目	内容
抄 録	要旨, まとめ	目的・方法・知見のまとめ(800字以内)
キーワード		(6個以内)
I はじめに	まえがき	活動の背景や目標, 活動の目的
II 方 法	方法と対象	報告に用いた資料, 活動の対象や地域, 検討の方法
III 活動内容	活動結果	活動内容や取り組みの特徴, 活動の結果や継続性, 資金や人材の効率性
IV 考 察	考案	活動およびその結果の検討, 活動を通じて得られた知見, 教訓や課題, 他事業に応用できる点や特殊な点
V おわりに	あとがき, 結論	今後の活動への示唆(省略可)
文 献		文献の記載は5.12)に従う

3. 制限頁数は, 完成原稿にして, 会員の声で1頁とし, その他で8頁以内とする(図表を含む)。ただし, 完成原稿1頁は1,936文字に相当する。投稿に関する連絡通信事務費(投稿料)3,000円(1論文につき)は著者負担とする(会員の声は除く)。
4. 編集委員会は投稿原稿について訂正を求めることがある。訂正を求められた原稿は, 指摘された事項に対応する回答を別に付記し, できるだけ速やかに再提出すること。返送の日より1か月以上経過して再投稿されたものは, 新投稿として取り扱うことがある。
5. 原稿の執筆要領は次のとおりとする。
 - 1) 原則ワープロを使用する。A4判の用紙に, 横書きで25字×16行又は25字×32行(32字×25行でもよい)で印字する。数字及び英字は原則として半角とする。また, 全てのページ下余白の中央にページ番号を付け, 図表を除く本文のページ左余白に全体を通して行番号を付ける。

- 2) 投稿原稿は原則として日本文とする(外国語の論文を投稿する場合は、事務局にお問い合わせ願いたい)。但し、図、表、写真の説明は英文で記載してもよい。なお、外国語の論文は、原稿の種類にかかわらず、800字以内の和文抄録を付記するものとする。
- 3) 数字は算用数字を用い、単位や符号は慣用のものを用いる。
- 4) 特殊な、あるいは特定分野でのみ用いられている単位、符号、略号ならびに表現には、必ず簡単な説明を加えなければならない。
- 5) 外来語は片かなで書く。外国人名や適当な日本語訳のない術語などは原綴を用いる。ローマ字は活字体(なるべくタイプ)を用いる。
- 6) 図、表、および写真には図 1、表 1、および写真 1 などの番号をつけ本文とは別にまとめておく。図、表および写真の原稿は明瞭なものでなければならない。
- 7) 原稿には表紙を添付し、表題(英文表題も併記)、著者名(ローマ字併記)、所属機関名、論文枚数、図、表および写真等の数を書き、キーワード 6 個以内を記す。また希望する原稿の種類、別刷必要部数、編集委員会への連絡事項および連絡者(責任者)の住所氏名なども記す。但し、別刷費用は著者負担とする。
- 8) 原著希望の場合は 250 語前後の英文抄録ならびにその和訳(これは掲載しない)をつけること。英文抄録については学会指定の校正者により校正を行い、費用は著者負担とする。表題(すべて大文字)、著者名、所属、本文、キーワード 6 個以内の順にタイプ(ダブルスペース)する。
- 9) 投稿原稿の内容が倫理的配慮を必要とする場合は、必ず「方法」の項に倫理的配慮や研究対象者への配慮をどのように行ったかを記載すること。なお、ヒトを対象にした研究では、ヘルシンキ宣言ならびに文部科学省・厚生労働省「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」あるいは他の適切な指針に従うこと。動物を対象にした研究では、実験が実施された組織における実験動物に係わるガイドラインに則

した研究であることが求められる。倫理審査委員会の承認を得て実施した研究は、承認した倫理審査委員会の名称および承認年月日を本文中(方法)に記載する。

- 10) 原稿の終わりに謝辞等の項を設けることができる。なお、当該研究遂行や論文作成に際して、企業・団体等から研究費助成、試料提供、便宜供与などの経済的支援を受けた場合は、ここにその旨を記載しなければならない。COI 状態がない場合も、「開示すべき COI 状態はない。」などの文言を記載する。
- 11) 前項の経済的支援につき、国内外のたばこ製造に係る事業者またはその関連団体(喫煙科学研究財団など)から受けているときは、査読の対象とせず、返却する。

12) 文献記載の様式

- (1) 文献は本文の引用箇所の肩に¹⁾,¹⁻⁵⁾などの番号で示し、本文原稿の最後一括して引用番号順に記載する。文献の著者が 3 名までは全員、4 名以上の場合には最初の 3 名 + 『, 他』とする。
- (2) 雑誌などの略名を使用する場合は、邦文誌は日本医学雑誌略名表(日本医学図書協会編)に、欧文誌は Index Medicus に従って記載する(なお、雑誌所定のものがあればこれを用いる)。
- (3) 記載方法は下記の例示に従う。

① 雑誌の場合

小川 浩, 宮崎 恭一, 林 高春. 5 日間禁煙講習会の成績. 日本公衛誌 1988 ; 35 : 80-84.

Browson RC, Chang JC, Davis JR. Occupation, Smoking, and Alcohol in the Epidemiology of Bladder Cancer. Am J Public Health 1987 ; 77 : 1298-1300.

② 単行本の場合

重松逸造, 小張一峰, 今川八束. 伝染病予防必携第 3 版. 東京 : 日本公衆衛生協会. 1986 ; 25-30.

西岡和男. 公衆衛生に関する国際統計. 橋本正己, 丸地信弘, 川口雄次, 他編. 世界の公衆衛生. 東京 : 日本公衆衛生協会. 1981 ; 747- 765.

Rothman KJ. Modern Epidemiology. Boston : Brown and Co. 1986 ; 56-57.

③ 訳本の場合

Last JM. A Dictionary of Epidemiology. Oxford University Press. 1983 ; 重松逸造, 春日 斉, 柳川 洋 訳. 疫学辞典. 東京 : 日本公衆衛生協会. 1987 ; 60-61.

④ 原則として, 特殊な報告書, 投稿中論文, 私信, その他で, 一般的には入手不可能な資料は文献としての引用は差し控える。

⑤ インターネットのサイトは, 他に適切な資料が得られない場合のみ文献として使用してもよいこととする。この場合は, サイト名とアドレスを簡潔かつ明確に記載するとともに, アクセスした年月日も付記すること。

厚生労働省.平成 23 年度特定健康診査・特定保健指導の実施状況 (速報値). 2013.

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98>

5

[2000002wcts-att/2r9852000002wcv.pdf](http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000002wcv.pdf)

(2013 年 2 月 22 日アクセス可能).

World Health Organization. Infant and Young Child Nutrition: Global Strategy on Infant and Young Child Feeding. Report by the Secretariat. 2002. http://apps.who.int/gb/archive/pdf_files/WH_A55/ea5515.pdf (2013 年 2 月 22 日アクセス可能).

6. 投稿は原則としてメール添付(本文、図、表、写真、抄録などすべて)にて送付する。
7. 審査完了後, 講演集と同様に原稿をそのまま印刷するため, A4 判の白紙に「日本公衆衛生雑誌」のスタイルに合わせて, タイプまたはワープロで仕上げ, できるだけ速やかにメール添付にて返送する。
8. 投稿原稿の掲載に際して, 当該原稿の印刷に要する費用については, 掲載編数にかかわらず 1 筆頭著者につき同一年度内 4 頁までの頁作成に要する費用の 70% を学会が負担する。1 筆頭著者につき同一年度内 4 頁を越える部分の原稿の印刷に要する費用については, 1 頁当たり 3,000 円の印刷費を著者負担とする。著者負担費用については, 資料代 (雑誌代) を除き他の費用とともに一括後納する。